土木工事施工管理基準の改訂について出来形管理基準 Ⅳ-14-4-5 切削オーバーレイ工

## 【現行】

							規格値				
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	個々の	' '	測定基準	測定箇所	摘要
				H			測定値 (X)	<ul><li>測定値</li><li>(X10)</li></ul>			
IV	14	4	5		切削オーバー	厚さ t	(11)	-9	厚さは 40m毎に <u>現舗装高</u> とオーバーレ	Ę.	
道	道	舗			レイエ	幅 w	-25 -100		イ後の基準高の差で算出する。		
路	路	装工				延長L			測定点は道路中心線、車道端及びその中	t +	
編	維持					平坦性	-	3mプロファイルメ	心とする   幅は、延長 40m毎に 1 箇所の割とし、延		
	14							ーター(α)2.4mm 以	· ·	現舗装 ▼	
								下直読式(足付き)	とする。	維持工事においては、平坦性の項	
								(α)1.75mm 以下	断面状況で、間隔、測点数を変えること		
									が出来る。		

## 【改訂】

								規格値			
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	個々の 測定値	' -	測定基準	測定箇所	摘要
							(X)	(X10)			
IV	14	4 舗装工	5		切削オーバー レイエ :	厚さ t		-9	厚さは 40m毎に <mark>切削後の高さ</mark> とオーバ	<b>€</b> :	
道	道					レイエ 幅 w 延長 L	-25 -100		ーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は道路中心線、車道端及びその 中心とする	t —	
路編	路維持										
///						平坦性		3mプロファイルメ	幅は、延長 40m毎に1箇所の割とし、	W	
								ーター(α)2.4mm 以 エ書書 (ロ(トキ)	延長 40m未満の場合は、2 箇所/施工箇		
								下直読式(足付き) (α)1.75mm 以下	所とする。	維持工事においては平坦性の項	
								(α)1.13mm 以下	断面状況で、間隔、測点数を変えること	目を省略することが出来る。	
									が出来る。		